

第2期小田原市教育大綱の策定に対する市民意見の募集結果について

1 意見募集の概要

政策等の題名	第2期小田原市教育大綱の策定
政策等の案の公表の日	令和4年9月15日（木）
意見提出期間	令和4年9月15日（木）から令和4年10月14日（金）まで
市民への周知方法	意見募集要項の配布（市内公共施設、ホームページ、教育総務課窓口）

2 結果の概要

提出された意見は、次のとおりです。

意見数（意見提出者数）	3件（2人）
インターネット	2人
ファクシミリ	0人
郵送	0人
直接持参	0人
無効な意見提出	0人

3 提出意見の内容

パブリックコメントで提出された意見の内容とそれに対する市の考え方は、次のとおりです。

〈総括表〉

区分	意見の考慮の結果	件数
A	意見を踏まえ、反映したもの	0
B	意見の趣旨が、既に反映されているもの	2
C	今後の検討のために参考とするもの	1
D	その他（質問など）	0

〈具体的な内容〉

(1) 基本目標に関すること

	意見の内容（要旨）	区分	市の考え方（政策案との差異を含む。）
1	「多様性を認め、生かしていく教育のまちづくり」について、地域の偉人である二宮尊徳から学ぶべき大切なことがとても多くあり、現在の生活に大いに生かすことができると思う。	B	二宮尊徳など地域の偉人から学ぶなど、小田原の地域性や歴史を生かした教育を行っていきます。
2	「生涯学び、活躍する社会を築く環境づくり」について、デジタル化等により図書館の利便性を向上していくことは、図書館になかなか足を運ぶことが難しい方々にとっては大助かりであり、図書館がより一層活用されると考える。	B	デジタル化などにより図書館の利便性を向上させるほか、多様な学習の機会と情報の提供を通じて市民が主体となった学習活動を推進し、生涯学習の振興を図ります。
3	豊かな才能の持ち主には特別な教育環境を整え、才能を開花させる教育システムを整えるべきと考える。	C	児童生徒一人ひとりが持つ個性や多様性を認め、それを伸ばし、生かしていくとともに、個に応じたきめ細かな教育を推進し、具体的に事業を実施していく際の参考にさせていただきます。